

前線による大雨に関する説明会  
8月13日以降の岐阜県の防災事項について

2021.08.13.11時30分  
岐阜地方気象台  
観測予報管理官

# 8月13日以降の防災事項について

2021年8月13日11時30分  
岐阜地方気象台

## <ポイント>

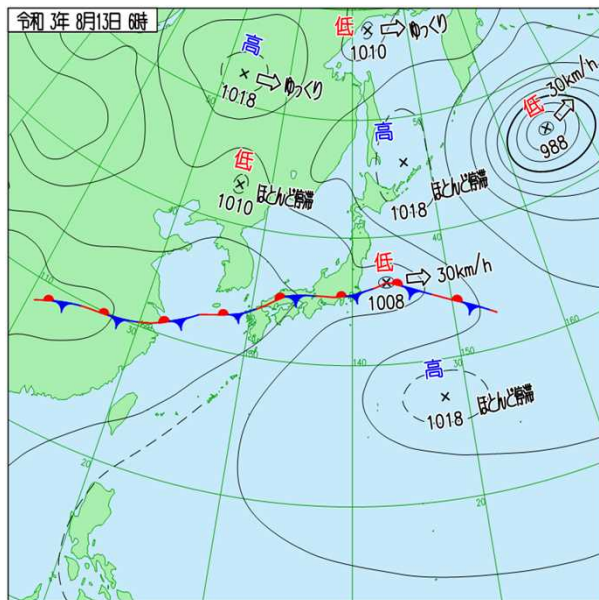
前線が日本付近に停滞し、来週にかけて岐阜県では広い範囲で大雨が続くおそれ。  
降り続く雨により土砂災害警戒情報（警戒レベル4相当）を発表する可能性がある。

## <概況>

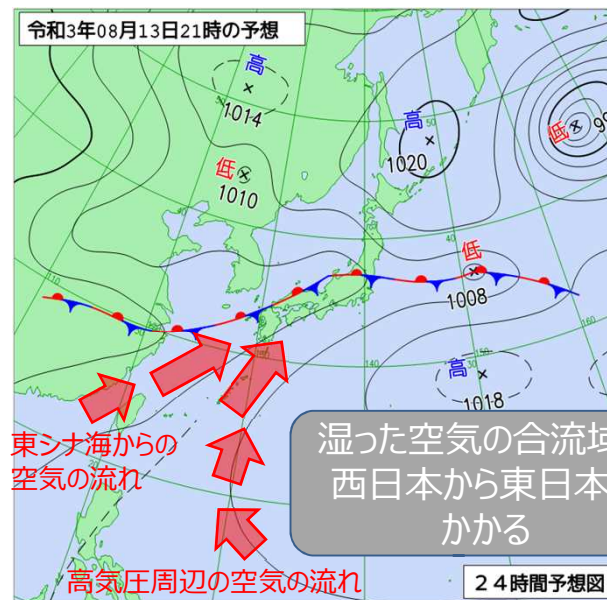
- ・中国大陸から東日本にのびる前線は、向こう一週間程度は日本付近に停滞する見込み。
- ・前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発な状態が続く。

## <大雨>

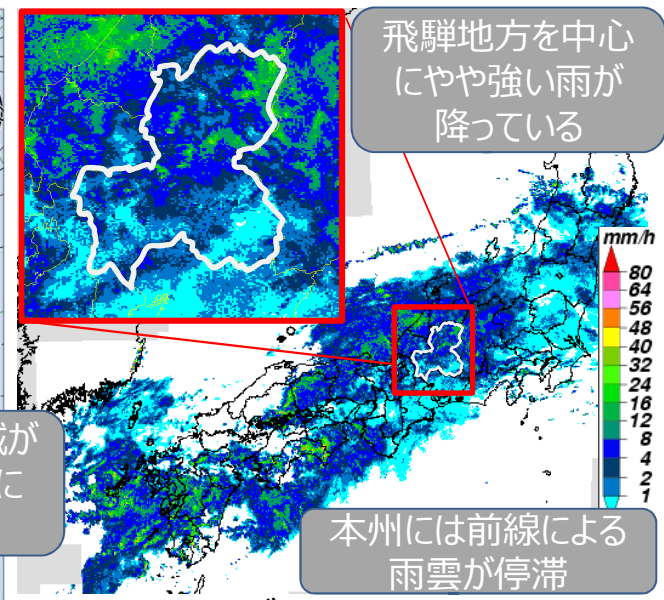
- ・13日から15日にかけて雷を伴って激しい雨が降り、**警報級の大雨となる可能性が高い**。
- ・特に、飛騨地方や美濃地方の山地を中心に総降水量が多くなる予想。
- ・その後も来週にかけて大雨が続くおそれあり。



実況 天気図（13日06時）



予想 天気図（13日21時予想）



レーダーエコー合成図  
（13日10時30分）

# 今後の予想と注警報の見通し

## 《注意報・警報の見通し》

### ■大雨警報（土砂災害）：

- ・13日夕方までに指数の高まっている市町村を対象に発表予定。
- ・13日夜以降は、発表範囲を順次拡大していく見込み。
- ・14日朝以降は、土砂災害警戒情報発表の可能性がある。

### ■洪水警報：

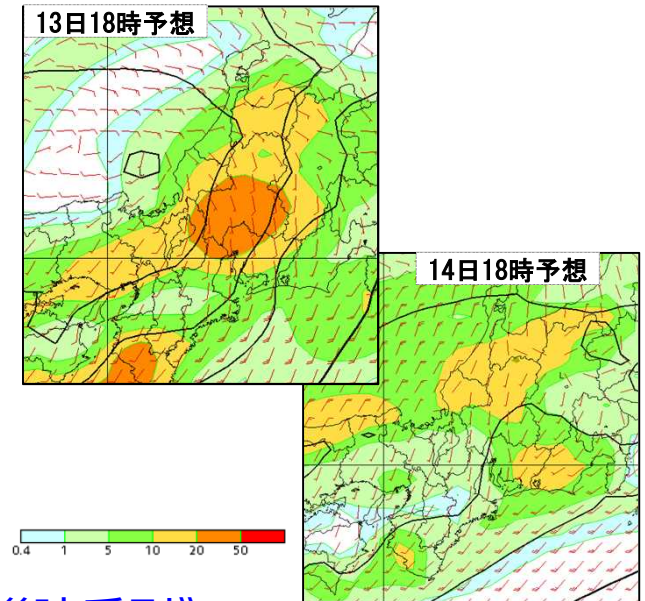
- ・14日朝以降、発表する可能性あり。

### ■大雨・洪水注意報：

- ・現在発表していない地域も今日夕方以降順次発表見込み。

土砂災害、河川の増水、氾濫、低い土地の浸水に注意・警戒。  
竜巻などの激しい突風、落雷にも注意。

雨雲の予想（3時間降水量）



## 《雨の予想》

### ■1時間降水量 多い所

13日 美濃・飛騨 50ミリ  
14日 美濃 50ミリ  
飛騨 40ミリ

### ■24時間降水量 多い所

13日12時～14日12時  
250ミリ  
14日12時～15日12時  
200から300ミリ

## 《防災時系列》

		13日					14日					15日						
		9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
		昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く				
大雨(土砂)	美濃地方																	
	飛騨地方																	
大雨(浸水) (ミリ)	美濃地方	40	50	50	50	40	40	40	40	40	50	50	40	40				
	飛騨地方	40	50	50	50	40	40	40	40	40	40	40	40	40				
洪水	美濃地方																	
	飛騨地方																	
雷	美濃地方																	
	飛騨地方																	
暴風 (メートル)	美濃地方			10↑	10↑													
	飛騨地方			10↑	10↑													


■ 警報級 ■ 注意報級 ■ 土砂災害警戒情報発表の可能性がある期間 ■ 警報発表の可能性がある期間

※注意報、警報は、対象となる期間よりも前に数時間のリードタイムをとって発表します。

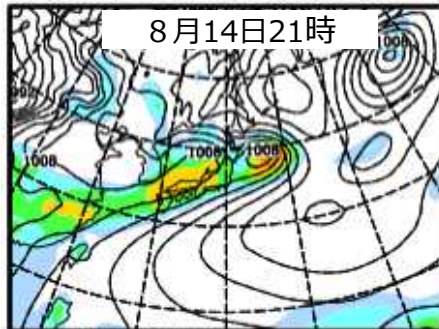
# 明日以降 週間天気予報

岐阜県の天気予報（7日先まで）

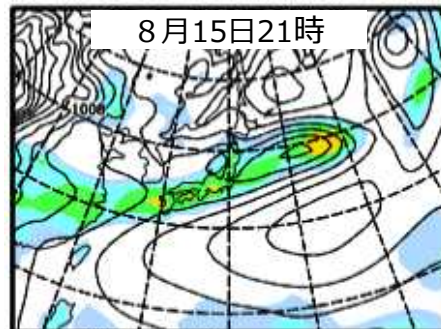
2021年08月13日11時 岐阜地方气象台 発表

日付	今日 13日(金)	明日 14日(土)	明後日 15日(日)	16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)
岐阜県	雨 	雨 	雨時々止む 	曇時々雨 	曇時々雨 	曇一時雨 	曇 	曇 
降水確率(%)	-/-/90/90	90/80/90/90	80	70	80	60	40	40

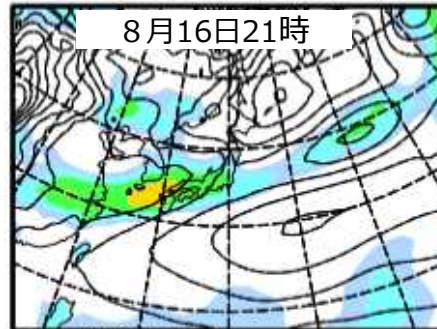
数値予報による7日先までの雨雲の様子



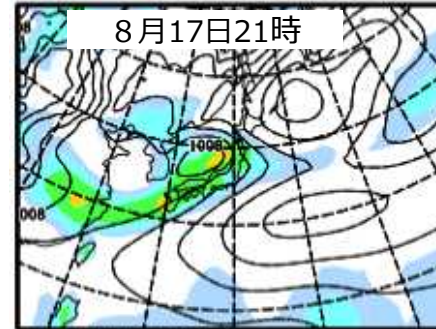
T=48 2021:8:14:12



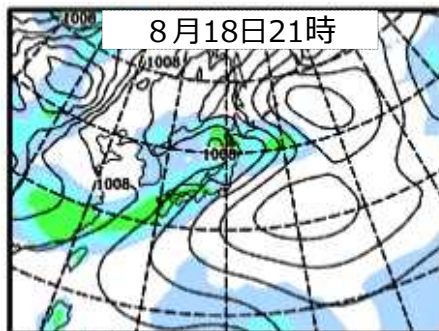
T=72 2021:8:15:12



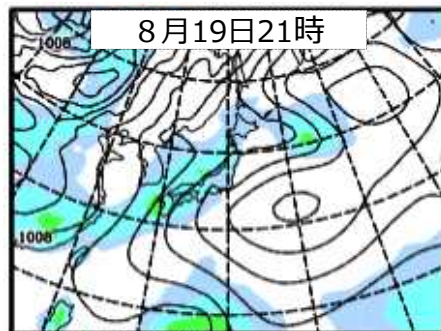
T=96 2021:8:16:12



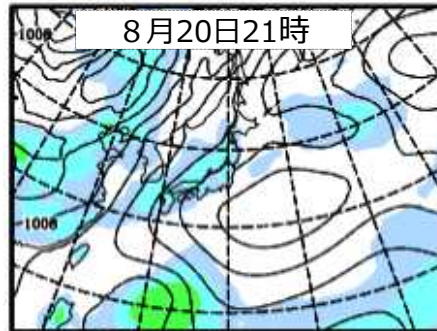
T=120 2021:8:17:12



T=144 2021:8:18:12



T=168 2021:8:19:12



T=192 2021:8:20:12

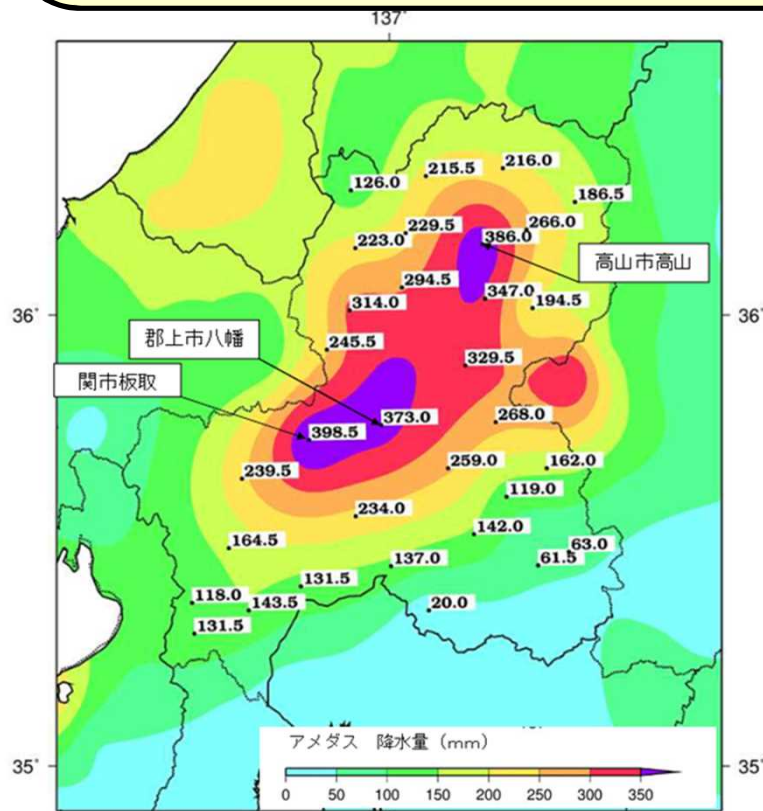


(12時間降水量)

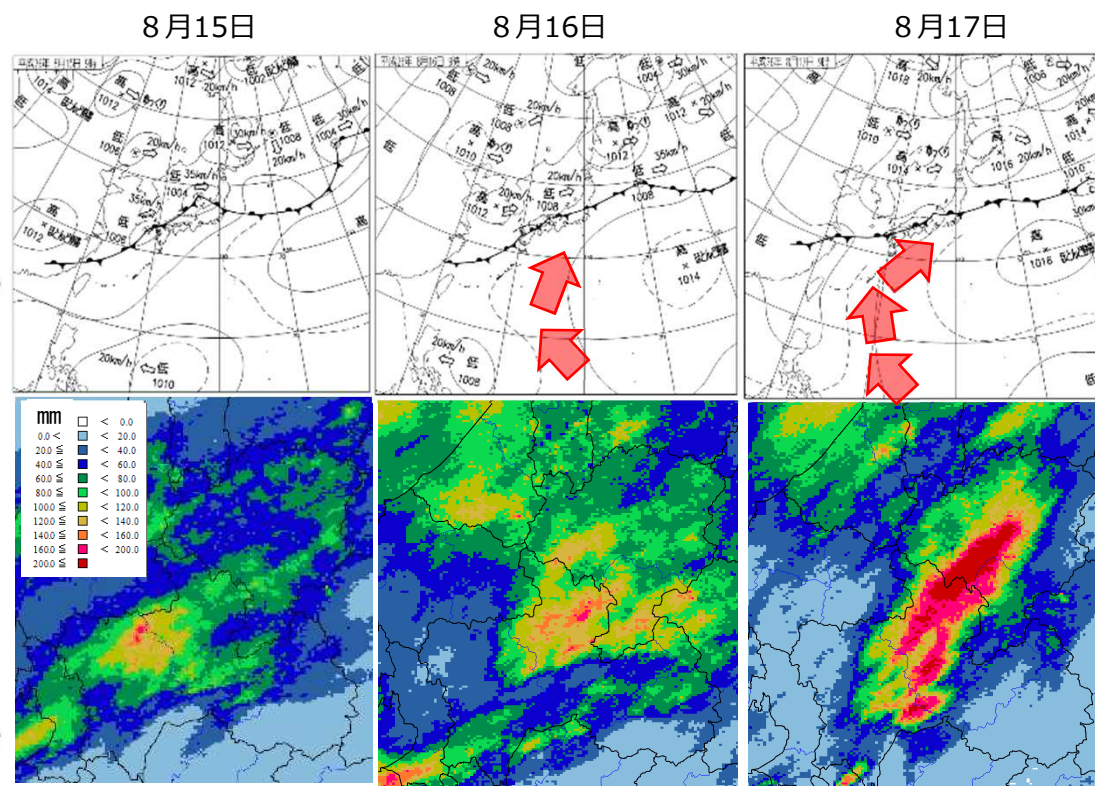
# ちなみに・・・平成26年8月豪雨

本州付近に前線が停滞し、県内には湿った空気が流れ込んだため、平成26年8月14日から18日にかけて非常に激しい雨が降った。降り始め14日からの総降水量は、関市板取で398.5ミリ、高山市高山で386.0ミリとなった。

1時間降水量では、17日に岐阜市岐阜付近と各務原市付近で約90ミリの猛烈な雨を解析した。



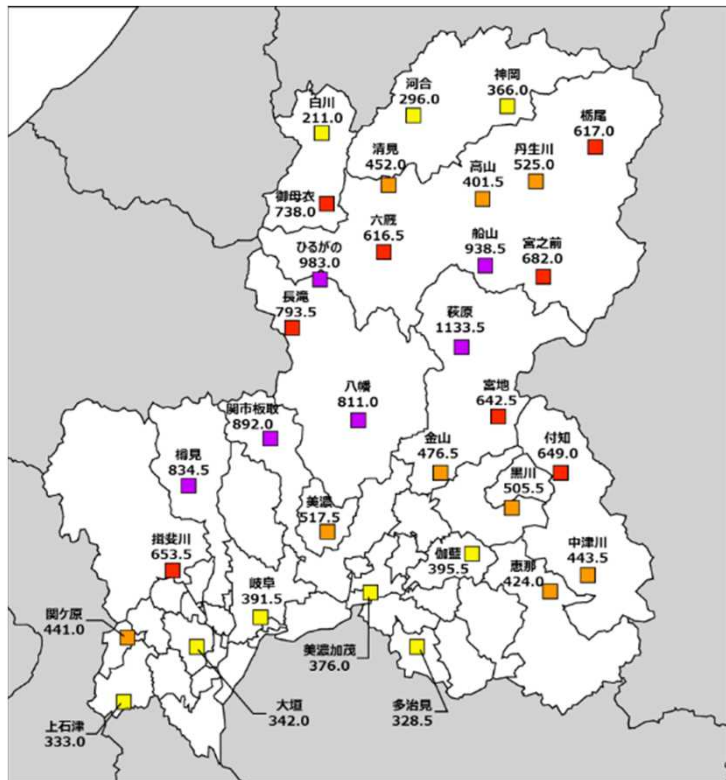
アメダス降水量分布図 (8月14日19時～8月18日11時)



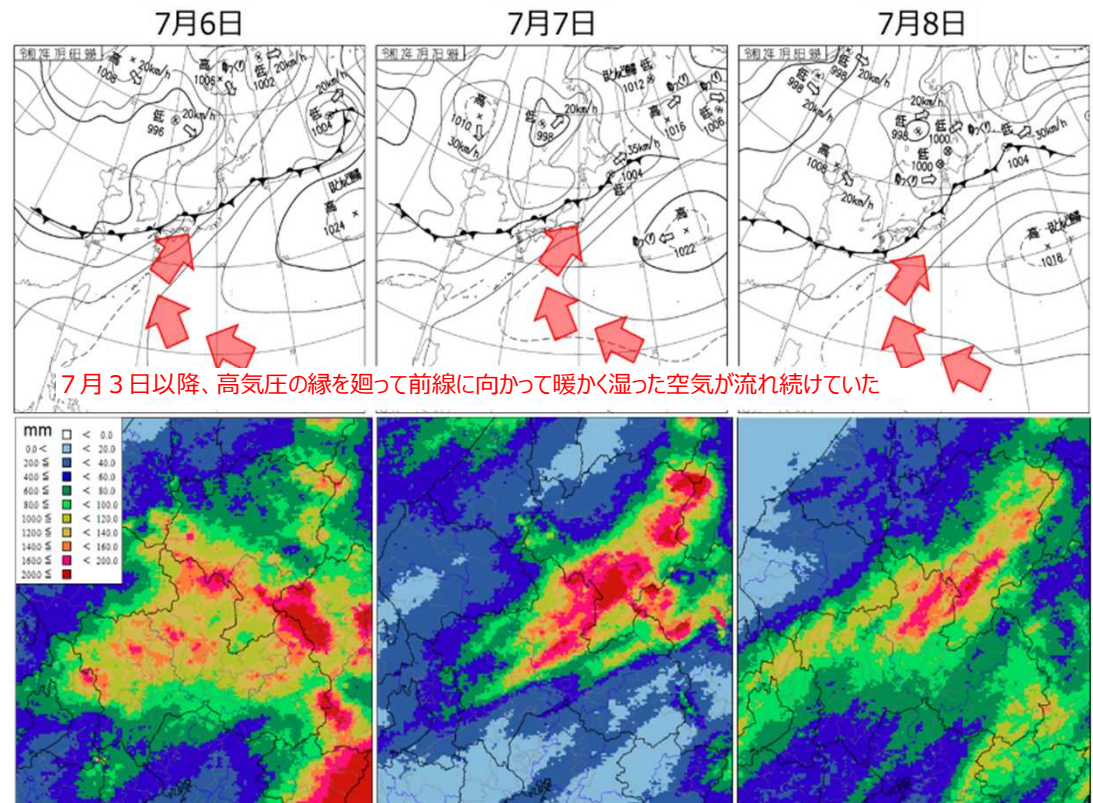
地上天気図 (9時) と日別解析雨量 (24時間積算)

# ちなみに・・・令和2年7月豪雨

期間降水量は、各地で300ミリ以上の雨を観測し、48時間降水量の期間最大では、6地点で観測史上1位を更新する大雨となった。特に、下呂市にあるアメダス萩原では、7月の月降水量の平年値（401.3ミリ）の約2.8倍の1133.5ミリを観測する記録的な大雨となった。



アメダス降水量分布図（7月3日0時～7月14日24時）



地上天気図（9時）と日別解析雨量（24時間積算）

# 大雨による災害の留意事項①

## 大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう  
**土砂災害が発生！**

崖崩れや土石流の発生を確認して  
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子  
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子  
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害  
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、  
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

**安全に避難できる早い段階で避難開始を判断**することが重要！

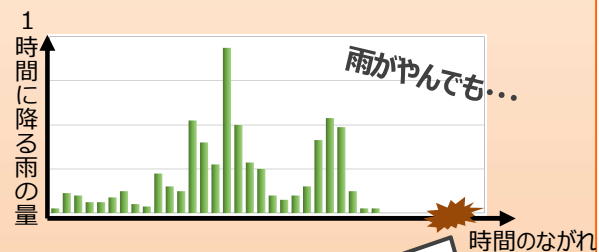


# 大雨による災害の留意事項②

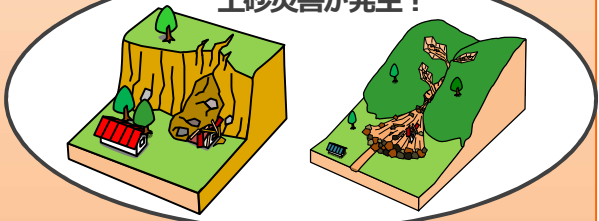
## 大雨がやんでも…

### 土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。

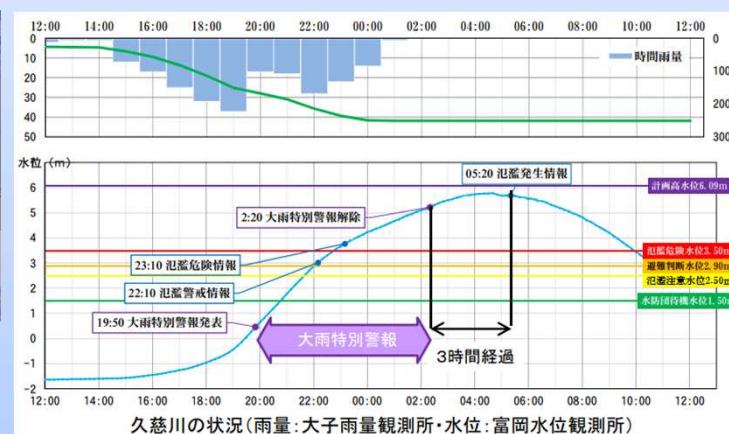


### 土砂災害が発生！



### 油断禁物！ 大川は時間差で増水

大川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越刃川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

**自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！**

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。

